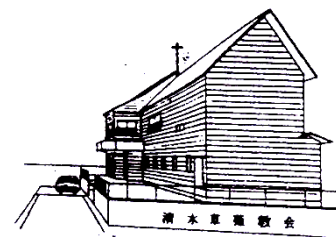


《今朝の聖書から》まず“わたしこそあなたからバプテスマを受けるはずですので、あなたがわたしのところにおいでになるのですか(3:14)”というヨハネの言葉に着目しましょう。“受洗志願”に対するヨハネとの関係を、マタイは明確なものにしています。でないと、主なるイエスも、以前は罪を犯したということになる。この福音書の特色の一つは、会話を用いてこのことを説明しているところにあります。次の節に進みましょう。“イエスは答えて言われた、「今は受けさせてもらいたい。このように、すべての正しいことを成就するのは、われわれにふさわしいことである」。そこでヨハネはイエスの言われるとおりにした(3:15)”というみ言葉です。成就するといっておられるのですが、この新約聖書でよく使われている“旧約の成就”ということも、ここではちょっとおかしいことになりません。旧約聖書には、メシヤは悔い改めのバプテスマを受ける、という記録はないのです。“受けさせてもらいたい”に注目しましょう。あなたに、“私に洗礼を授けさせること”で、ヨハネとその群れとの関係をはっきりとさせたいという意味かもしれません。それは“仕える者の姿”だったのです。“ゴルゴダへの道のスタート”だったのです。“私の愛する子”という方が、私の救いのために肉となられた神の思い(ロゴス)を表しているのです。このクリスマスは“救い”という言葉に焦点を当ててきました。この方が“私たちの救いになられた出来事”を今日学びます。それによって主は悪魔ともろもろの誘惑に勝利する力を、私たちに明らかにされたのです。主とともに進みましょう。私たちには、人と比べて貧しい時や出来事があります。主の不在の時には、私たちはひたすら、その問題を引きずり、辛抱するでしょう。しかし救われ、神に力を頂いたことが分かる時には、積極的であることができます。“何とかしよう”と思うこともできます。聖書が全て、“耐え忍ぶ”という時、そこに留まって辛さを味わうことを示しているのではなくって、そこから出発することを教えてくれているのです。

週報

2009年 1月 11日



伝えよう 救い主を
迎えよう 主の民を

日本フリーメソジスト

清水草薙キリスト教会

牧師 村上 定幸

教会学校	毎日曜日	午前 9:00
礼拝式	毎日曜日	午前 10:30
	(聖餐式 第一日曜日)	
夕礼拝式	毎日曜日	午後 7:00
エステル会の会	毎水曜日	午前 10:30
聖書研究祈禱会	毎水曜日	午後 7:00
ホームページ	http://kusanagi.church.jp/	

〒424-0885

静岡県清水区草薙杉道3丁目2-26

☎054-345-4070 E-Mail grace@big.jp